【item Robot】動画講座
『 item Robotとは - item Robotの特徴や利点など』

Feb 12, 2021

item Robot
Support Department.
Hunglead, Inc.

Hunglead

目次：item Robotとは - item Robotの特徴や利点など

・item Robotとは　［動画 01:06 - 04:38］

- item Robotとは？ひと言でいうと　［動画 01:06 - 01:57］

- item Robot用語　［動画 01:58 - 02:47］

-item Robotの使い方の流れ　［動画 02:48 - 04:38］

・item Robotの強み　［動画 04:40 - 14:56］

-メインデータとショップ別データ　［動画 04:40 - 08:22］

- 一括編集機能　［動画 08:23 - 11:22］

- 画像に強い！　［動画 11:23 - 13:56］

item Robotとは - ひと言でいうと　[動画 01:06 - 01:57]

ズバリ！「商品管理システム」です。
item Robotに登録した商品を楽天や複数の店舗に商品登録ができます！

item Robotに商品を登録

item Robotの商品情報編集

ショップにアップロード

補足：item Robot用語　［動画 01:58 - 02:47］

システムによって同じ意味合いの名称が違う名前で呼ばれることがあります。
この、インポートもアップロードも『どこかにデータを送る』という意味合いの言葉です。

その上で、item Robotでは

インポート　＝　item Robotにデータ送ること
アップロード　＝　ショップ（楽天やYahoo!など）にデータ送ること

と基本的に定義してます。

item Robotでは管理画面やマニュアルなどでも頻繁にこの2つの言葉が出てくるので、
まずは、意味を押さえておきましょう。

item Robotの使い方の流れ　[動画 02:48 - 04:38]

item Robotに商品を登録

item Robotの商品情報編集

ショップにアップロード

item Robotの強み - メインデータとショップ別データ　[動画 04:40 - 08:22]

メインデータ：どの店舗でも共通となる項目　※楽天の項目がベース
ショップ別データ：共通の項目とその店舗独自の項目

【item Robotのルール】
アップロード時に商品データを作る際には、
ショップ別データがある時はショップ別データの値を使う。
ショップ別データがない時はメインデータの値を使う。

このルールをうまく利用することで、ショップ毎の特徴をカンタンに出すことが可能です。

メインデータは楽天の項目がベース
⇒楽天の商品データをitem Robotにインポートするだけで、
　item Robotで商品情報の土台が出来上がります。

item Robotの強み - メインデータとショップ別データ　[動画 04:40 - 08:22]

メインデータ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：めがね
販売価格：10,000円

ショップ別データ

楽天

キャッチコピー：送料無料！
商品名：（空白）
販売価格：（空白）

Yahoo

キャッチコピー：（空白）
商品名：素敵なめがね
販売価格：8,000円

楽天 実際の登録データ

キャッチコピー：送料無料！
商品名：めがね
販売価格：10,000円

Yahoo 実際の登録データ

キャッチコピー：おしゃれ
商品名：素敵なめがね
販売価格：8,000円

item Robotの強み - 一括編集機能　[動画 08:23 - 11:22]

複数の商品の商品名に一気に言葉を追加したい、削除したい。
そんな時、CSVを使わなくても、item Robotの管理画面上で一括編集が可能です。
メインデータにもショップ別データにも一括編集できます。

※一括編集に対応している項目の一覧はこちらでご確認ください。
https://www.hunglead.com/item-robot-manual/04/01_02_02.html

**CSVとはコンピュータが理解しやすいデータの形式。
でも、編集失敗すると、
データが文字化けしたりするのでコツが必要！**

item Robotの強み - 画像に強い！　[動画 11:23 - 13:56]

・商品データをインポートしたら商品に設定している画像データもショップから自動で取得
　⇒画像だけ別でインポートが基本不要　※エラーで取得できなかった画像は除く

・item Robot内でファイル移動したら画像URLも自動で変更
　⇒商品画像だけでなく、説明文中の画像URLも変更します

・アップロード時も何もしないでも各ショップに送ります
　⇒画像だけをショップ毎に入れなくてよし　※futureshopでは別途ショップへの登録が必要です
　⇒説明文内の画像URLもそのショップのルールで自動で変換生成

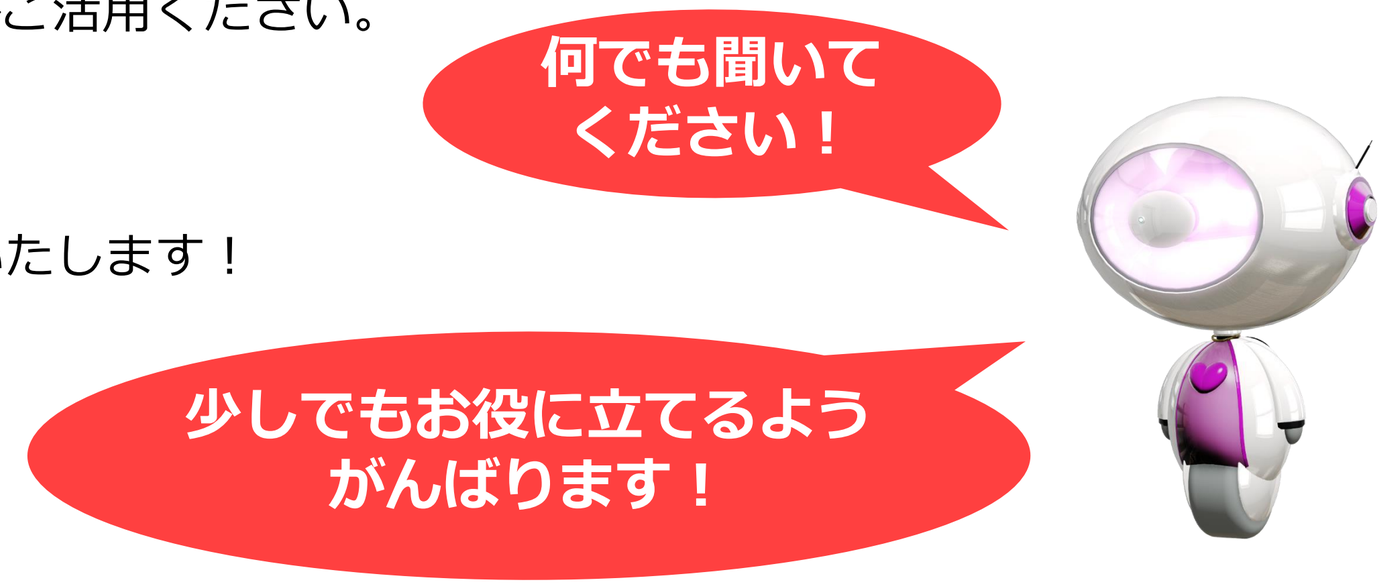
※ショップ情報管理に正しい情報が設定されてない場合には、
　画像URLが正しく変換できませんのでご注意ください。

最後に

本日はお忙しい中、item Robot 動画講座をご覧いただき、誠にありがとうございました。

動画講座改善のため、アンケートにご協力のほどよろしくお願いいたします。

https://forms.gle/rGinKbwa47DwzSav9

item Robotのご質問などがある場合も、上記のアンケートに質問内容をご記入いただければ
担当よりご連絡さしあげますので、ぜひご活用ください。

今後ともitem Robotをよろしくお願いいたします！